

「人吉旅館」

国の登録有形文化財に

9月21日、上青井町の「人吉旅館」と「芳野旅館」が国の登録有形文化財に登録されることが決まりました。創業時の姿を残し、人吉温泉の繁栄を示す貴重な近代和風建築物と評価された2旅館を紹介します。



人吉旅館

①菱形を三つ重ねた「松皮菱^{まつかわびし}」と呼ばれる形の窓が目を引く中央棟。②古い旅館では珍しいという広い廊下は、黒光りし風情が漂う。③球磨川の景色を楽しめるよう配された客室

登録された文化財の概要

玄関棟、東棟、中央棟、西棟

建築年代

玄関棟 1933（昭和8）年
東棟 1930（昭和5）年ごろ
中央棟 1933（昭和8）年
西棟 1953（昭和28）年

評価された点

- ・各棟とも球磨川沿いに客室を配し河岸の景観に趣を添えている点
- ・客室ごとに異なる趣向を凝らした意匠（デザイン）
- ・全体的に近代和風建築として良質な造り

「頑固に守ってこられた先代に感謝。気軽に日本の建築文化を学べる場として、いろんな人に見てもらえるような仕掛けも考えていきたいと思っています」

おかみ
女将
堀尾 里美さん



※見学を希望される場合は事前にご連絡ください。 人吉旅館（☎22-3141）